

平成 14 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 安川電機
コード番号 6506
問 合 せ 先 管理部総務・人事グループ長
宇佐見 昇
(TEL . 093-645-8801)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向等を踏まえ、平成 13 年 11 月 20 日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

- 1 . 平成 14 年 3 月期単独通期業績予想数値の修正 (平成 13 年 3 月 21 日 ~ 平成 14 年 3 月 20 日)
(単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 13 年 11 月 20 日発表)	118,000	4,500	6,000
今回修正予想 (B)	115,000	5,850	9,900
増減額 (B - A)	3,000	1,350	3,900
増減率	2.5		
前期 (平成 13 年 3 月期)実績	158,944	6,019	1,099

- 2 . 平成 14 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正 (平成 13 年 3 月 21 日 ~ 平成 14 年 3 月 20 日)
(単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 13 年 11 月 20 日発表)	225,000	2,000	7,000
今回修正予想 (B)	217,000	6,600	13,700
増減額 (B - A)	8,000	4,600	6,700
増減率	3.6		
前期 (平成 13 年 3 月期)実績	266,068	11,879	3,319

3 . 業績予想修正の理由

世界的な IT 関連需要の低迷と、同時多発テロ以降の米国経済の一層の減速、日本国内の不況の長期化により、経営環境は一層厳しいものとなっております。

当社グループも、経費の徹底的な削減等を実施いたしました。当社および北米子会社を中心に業績が悪化しており、また、株式市場の低迷による投資有価証券評価損 (通期 約 39 億円) など、特別損失の増加も予想されますので、連結・単独とも通期の業績予想を修正いたします。

4．業績回復に向けた取り組み

当社グループでは、依然として厳しい経営環境が続く中で、早期の業績回復を図るため、以下の諸施策を実施してまいります。

(1)生産コストの削減

海外生産および委託生産をさらに拡大し、生産コストを抜本的に削減するとともに、売上量の変動にも柔軟に対応できる生産体制の構築を進めております。

また、資材調達コストの一層の削減を図るため、2月21日付で全社の購買機能を集約した調達部を設置し、全社集中購買、海外からの調達、共同購買を推進しております。

(2)拠点・機能の集約

東京支社所在の一部部門の入間事業所および本社への集約に続き、今後も拠点の集約・効率化を進めてまいります。

(3)ERP / SCM の本格稼働

現在、ERP（統合業務システム）およびSCM（サプライチェーン・マネジメントシステム）の各事業所への導入を図っており、一層の棚卸資産の削減やリードタイムの短縮による、資金運用の効率化を図ってまいります。

(4)固定費の徹底的な削減

諸経費の徹底的な削減を継続して実施してまいります。

(5)人員の削減

平成13年度期初で、グループ全体で約9,000名の人員を、平成14年度末までに1,000名削減するという目標に従い、スリム化を図ってまいります。（平成13年度末で約800名削減。）

【注記事項】

上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあり得ます。

以上